

1 事業概要

		課等No.	28	事業No.	163
事務事業名		勤労者支援事業		会計	一般会計
担当課等名		産業振興課		事業区分	政策
				実施区分	継続
				開始	終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017		
	法令・例規等				
事業目的	対象	飯田市内の勤労者・事業所、飯田下伊那の勤労者・事業所（飯田勤労者共済会）			
	意図	安心して働ける環境づくりや勤労者の生活安定と福祉向上			

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		勤労者に対する福利厚生が充実し、やりがいと生きがいを持って安心して働ける環境をつくる必要があります。また、各種融資事業については、勤労者が利用しやすい制度となるよう見直しをする必要があります。				
29年度取組	取組内容		経費の内容			事業費(千円)
	勤労者の生活安定と福祉の向上を図るため、勤労者に対する住宅建設資金融資等支援や事業所に対する退職金共済支援、勤労者関係団体等への支援を行い、安心して働ける環境づくりを進めます。 ・ 勤労者住宅建設資金融資支援の実施 ・ 勤労者協調融資の実施 ・ 中小企業退職金共済加入事業所や特定退職金共済加入事業所の支援 ・ 飯田市勤労者協議会事業の支援 ・ 飯田勤労者共済会の支援		勤労者住宅建設資金融資利子の補給			735
			勤労者協調融資への預託			170,000
			中小企業退職金共済等加入事業所の支援			850
			飯田市勤労者協議会事業の支援			5,200
			飯田勤労者共済会への補助			11,976
その他の経費					3,068	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	勤労者住宅建設資金利用者数	人	40			
	中小企業退職金共済等補助対象事業所数	所	30			
	勤労者協調融資新規利用者数	人	10			
	飯田勤労者共済会事業所加入率	%	18			
29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項			
	事業費 計	191,829	(そ) 勤労者生活教育資金貸付預託金回収金 170,000千円			
	国庫支出金	0	(そ) 雇用促進住宅駐車場負担金 1,159千円			
	県支出金	0	(そ) 勤労者福祉推進事業町村負担金 3,399千円			
	地方債	0				
	その他	174,558				
	一般財源	17,271				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事業	中 事業	当初予算額	中事業名(科目名称)
							現計予算額	
1	1	5	1	1	10	1	9,853 0	労働諸費
2	1	5	1	1	10	2	11,976 0	飯田勤労者共済会補助事業費
3	1	5	1	1	10	3	170,000 0	勤労者協調融資事業費
4								
5								
6								
7								

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		消防法	防火管理者の選任	○	○
廃熱を利用した風呂・プール利用	○			○	○	○	○	○	○		消防法	消防用設備の点検及び結果報告(2回/年)	○	○
											消防法	避難訓練計画の届出及び訓練の実施(2回/年)	○	○
浄化槽の点検		○		○	—	—	○	—	○		消防法	地下タンクの加圧点検(1回/年)9月	○	○
浴槽の水質検査		○		○	—	○	—	—	—		消防法	非常用自家発電設備の点検(1回/年)	○	○
プールの水質・空気検査		○		○	—	○	—	—	—		南信州広域連合火災予防条例	灯油タンクの管理	○	○
											浄化槽法	プール保守点検(2回/月)	○	○
エアコンのフロンの点検		○		○	—	○	—	—	—		浄化槽法	浴場棟保守点検(1回/月)	○	○
											浄化槽法	指定検査機関による水質検査の実施(1回/年)及び清掃(1回/年)	○	○
タンクからの燃料流出・火災			○	××	—	—	—	—	×	○	公衆浴場の設置場所の設置及び衛生等の措置の基準に関する条例施行規則	水質検査の実施(男女:年2回)	—	—
											長野県競泳用プール指導要綱	水質検査の実施(毎月)及び空気検査の実施(毎月)	○	○
											電気事業法	電気保安管理(1回/2月)及び年次点検(9月)	○	○
											フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	廃棄時書類交付、保存	—	—
											特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	廃棄時におけるリサイクル券の受領・保管	—	—

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準で)			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 施設廃止後の適正管理 有害物質の混入による営業停止と社会的信用の失墜 燃料流失・火災等による事故 	石油類の保管施設	年間を通じて適正な管理を行う	<ul style="list-style-type: none"> 5月:飯田勤労者共済会事務局へ打診 5月下旬:サンヒルズいいだの所長との打ち合わせ、記録簿等の作成 6月~:タンクの確認作業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、チェック表に基づき石油類保管施設検査記録簿に点検結果を記入 毎月まとめて記録簿を提出 	○	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、チェック表に基づき石油類保管施設検査記録簿に点検結果を記入 毎月まとめて記録簿を提出 	○
<ul style="list-style-type: none"> 順守に必要な情報の確保と設備レベルの維持 							

